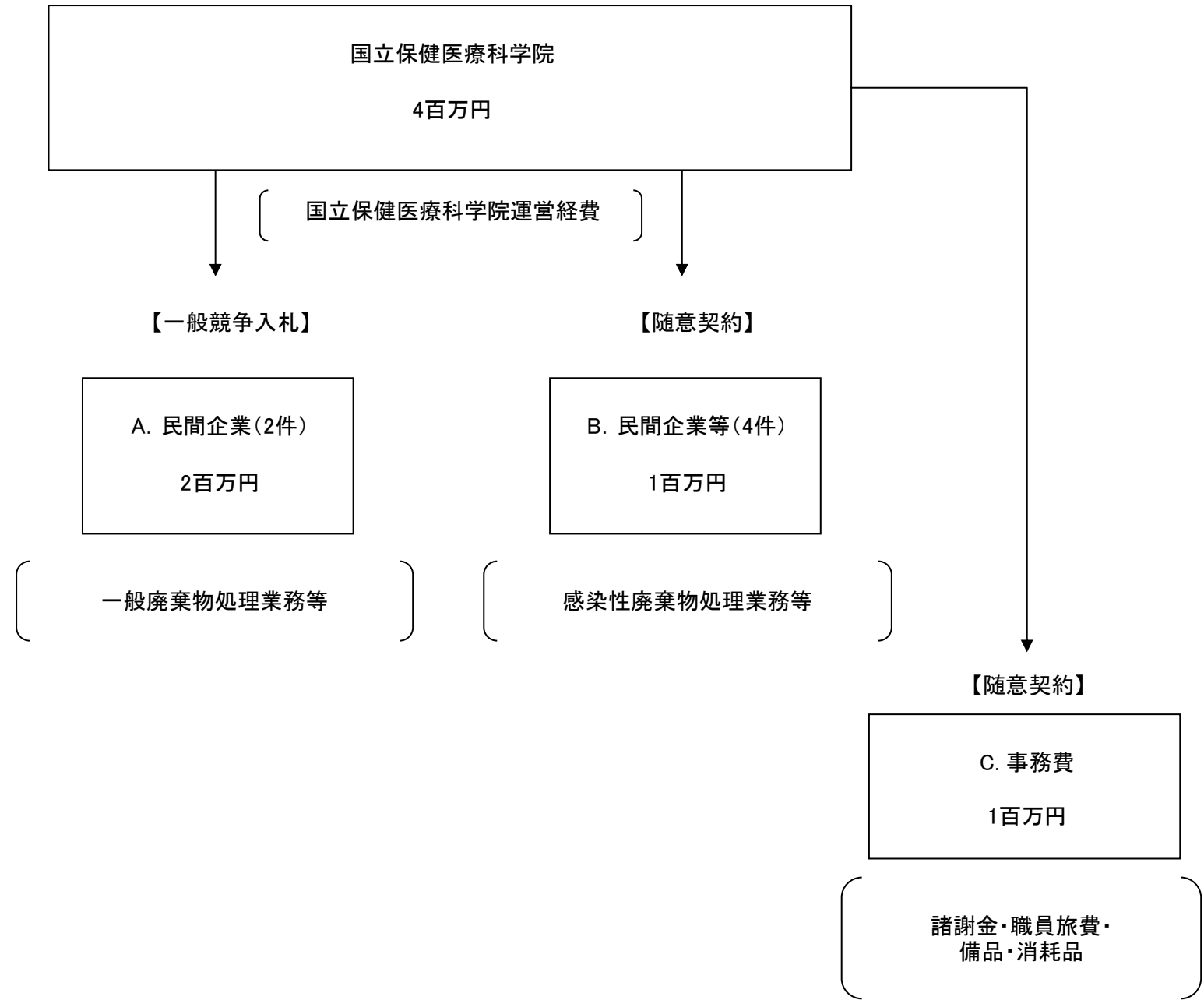


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立保健医療科学院運営経費			担当部局	国立保健医療科学院		作成責任者			
事業開始年度	平成14年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部会計課		川又 功			
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-					
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立保健医療科学院の調査研究事業を円滑に実施するための事務等を行うことを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	以下の事業を行う。 研究調査の実施 年報作成 研究倫理審査委員会を開催 特殊施設(機器分析室)の管理運営 廃棄物の処理									
実施方法	直接実施									
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求				
	予算の状況	当初予算	5	5	4	4				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	-	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計	5	5	4	4	0				
	執行額	5	5	4						
執行率(%)	100%	100%	100%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	27年度	
	外部委員による研究課題評価(毎年実施)で3.5点以上を目標とする。	研究課題評価の総合点を目標とする。	成果実績	点	3.6	4.1	4			
			目標値	点	3.5	3.5	3.5	3.5		
			達成度	%	103%	117%	114%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
研究倫理審査委員会における審査件数(書面審査含む)	活動実績	件	33	23	30					
	当初見込み	件	20	20	20	20				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
年報作成部数	活動実績	部	1,500	1,500	1,500					
	当初見込み	部	1,500	1,500	1,500	1,500				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	X:研究倫理審査委員会出席謝金+研究倫理審査委員会出席旅費+研究倫理審査委員会迅速審査(書面審査)謝金/Y:開催回数	単位当たりコスト	円	22,026	27,474	30,565	21,600			
		計算式	X/Y	726,860円/33件	631,900円/23件	916,954円/30件	432,000円/20件			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	X:年報作成費用/Y:作成部数	単位当たりコスト	円	282	267	217	274			
		計算式	X/Y	423,000円/1,500部	399,840円/1,500部	325,475円/1,500部	411,000円/1,500部			
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	X:廃棄物処理費用/Y:職員数	単位当たりコスト	円	15,195	18,133	16,561	13,055			
		計算式	X/Y	2,172,921円/143人	2,502,338円/138人	2,351,796円/142人	1,880,000円/144人			
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由						
	諸謝金	1								
	職員旅費	1								
	庁費	2								
	計	4	0							

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国立保健医療科学院の運営に関する経費のため必要な事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国立保健医療科学院の運営にかかる経費のため他に委ねることは出来ない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	科学院の調査研究に必要な経費であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	一般競争入札を実施し、競争性を確保した。個々の契約が100万円未満のものについては少額随意契約とした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	研究倫理審査委員会の開催に係る単位当たりコストの上昇は、謝金の標準支払基準の改定による。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	廃棄物の排出量の削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	成果実績は成果目標を上回っている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込み以上である。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	研究倫理審査委員会では厳正な審査を行っているところであり、平成26年度における審査件数は平成25年度より増加した。年報の発行は計画通りに行った。			
	改善の方向性	今後も、科学院の運営のために必要な支出を行いながら、更なる見直しを行い経費削減に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	597	平成23年度	544	平成24年度	483
平成25年度	867	平成26年度	867		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.日本興業株式会社			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務	一般廃棄物処理業務	1.3			
	計		1.3	計		0
	B.環境テコム株式会社			F.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務	廃プラスチック類、金属くず(粗大ごみ)処理	0.6			
	雑役務	廃液処理	0.4			
	雑役務	廃棄薬品処理	0			
	計		1	計		0
	C.			G.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
		100万円以上の支出先なし				
	計		0	計		0
D.			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本興業株式会社	一般廃棄物収集	1.3	1	89.4%
2	明誠企画株式会社	国立保健医療科学院年報作成	0.3	2	79%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	環境テコム株式会社	廃プラスチック類、金属くず(粗大ごみ)処理	0.6	随意契約	-
2	環境テコム株式会社	廃液処理	0.4	随意契約	-
3	環境テコム株式会社	廃棄薬品処理	0	随意契約	-
4	明誠企画株式会社	国立保健医療科学院年報発送	0.2	随意契約	-

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	諸謝金・委員等旅費	0.3	-	-
2	個人B	諸謝金	0.3	-	-
3	個人C	諸謝金	0.3	-	-
4	個人D	職員旅費	0.1	-	-
5	個人E	職員旅費	0.1	-	-
6	個人F	諸謝金・委員等旅費	0	-	-
7	個人G	諸謝金・委員等旅費	0	-	-
8	個人H	委員等旅費	0	-	-
9	個人I	職員旅費	0	-	-
10	個人J	職員旅費	0	-	-